お知らせ



3 新花型 11月8日色はいい嫌の日

歯と口はその人の健康を支えるなど、人生の中でとても大切な役割を担っています。 赤ちゃんから高齢者まで病気を予防し、健康な生活を送るため いつでも相談に応じてくれる「かかりつけ歯科医院」を持ちましょう 間健康増進課(2階)☎561-2323、風561-0180

かかりつけ歯科医院での歯科検診のお仕事をのぞいてきました!

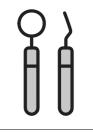
むし歯や歯周病 などの検査

小さな変化も見逃さず、 口の中をチェック します



歯石除去

むし歯菌や歯周病菌を 増やさないように、 歯石を取ります



PMTC (歯面清掃)

歯の汚れや着色を 取り除いて、 ツルツルの歯にします



ブラッシング 指導

一人一人に適した 正しい磨き方や 歯ブラシの選び方 などをアドバイス



なぜ定期歯科検診が必要なのか 歯科医師に聞きました!

むし歯や歯周病は、痛みや 違和感があったときにはすで に進行していることが多く、 放置すれば歯を失う原因にも なります。特に歯周病は成人 の約8割がかかっています。 こうしたトラブルを防ぐには、 定期的な歯科検診がとても重 要です。検診ではむし歯や歯 周病の早期発見だけでなく、 歯石やバイオフィルムと呼ば



オリハラ歯科クリニック

れる細菌の塊を取り除き、再発や進行を防ぎます。 さらに、歯磨きの仕方や生活習慣の見直しについ ても、一人一人に合わせたアドバイスを行います。 こどもの乳歯や生えたばかりの永久歯はむし歯に なりやすく、適切なタイミングのフッ素塗布がむ し歯予防につながります。定期歯科検診は口の健 康を守るだけではなく、体全体の健康寿命を延ば すためにも大切なステップです。自身の歯でずっ と食べられる喜びを維持するために、今できるこ とから始めていきましょう。

こどもにもかかりつけ歯科医院をもち、 口の健康を守りましょう

2歳6カ月児と3歳6カ月児のむし歯の罹患率が 増えています。ジュースや甘いおやつを食べる習慣 があると、歯みがきが難しい奥歯の嚙み合わせの溝や、 歯と歯の間がむし歯になりやすいです。乳歯にむし 歯があると口の中のむし歯菌が増加し、永久歯もむ し歯になりやすい口の状態が作られます。甘いおや つを食べるときはお茶や水で、ジュースはお楽しみ の日にするなどにして、食べ方に注意しましょう。



丸で囲んだ歯が 生え始めたら 受診しましょう

問子育て相談センター(さわやか保健センター3階)

市ではかかりつけ歯科医院を持つ第一歩として 節目歯科健康診査・妊婦歯科健康診査を実施 しています



3 すべての人に 健康と福祉を -W•

糖尿病は、血液中の糖の濃度(血糖値)が慢性的に高く なる病気で、自覚症状がないまま進行します。進行すると、 網膜症・腎症・神経障害の「三大合併症」を引き起こす他、 心筋梗塞や脳梗塞などの病気になる恐れが高まります。 糖尿病を予防するために、できることから始めましょう!

間健康増進課(2階)☎561-2323、网561-0180

11月14日金は 世界糖尿病

食事・運動・体重管理・禁煙など生活習慣の改善がカギ!

1 バランスの取れた食事

野菜や魚、豆類などを中心とした食事を心掛け、

糖分や脂肪分の多い食品を 控えめにしましょう。1日 3 食を規則正しく食べるこ とや、間食は健康に良いも のを選ぶことが大切です。



3 | 体重管理

健康的な体重を維持すること、特に腹囲が男

性85cm以上、女性90cm以上と なる腹部肥満を避けることが、 糖尿病予防につながります。



2 | 適度な運動

週に150分以上の有酸素運動(ウオーキング、 ジョギング、サイクリングなど)を目標に、少 なくとも週3日、できれば毎日運動しましょう。

筋力トレーニングも取り入 れると効果的です。階段 を使う、歩く距離を増やす など、日常生活のなかで 体を動かす機会を増やし ましょう。



4 | 禁煙

喫煙は糖尿病のリスクを増加させるため、禁煙 をお勧めします。禁煙するためには、禁煙する 理由を明確にし、開始日を決め、吸いたい気持 ちの対処法(ガムをかむ、

歯磨きなど)を練習する など、準備が大切です。



専門の先生からのコメント



社会医療法人誠光会 淡海医療センター 糖尿病センター 糖尿病・内分泌内科 センター長 関根塑さん

糖尿病は、誰もがかかる可能性のある、 自覚症状の分かりにくい病です。進行する と合併症が出現する恐れがあります。今、 自分自身の体調、確かめてみませんか。

健康診断を積極的に受けて、近くの病院 を受診しましょう。

広報くさつ、2025.11、 **一 7** 広報くさつ 2025.11